

畜産業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7~8	鶏舎内で、鶏を詰めた移動台車を押して通路を移動していた時、移動台車の脇を人が通過しようとした為、速度を落として徐行した。その際、後続の移動台車を押していた者が気付かず、当事者の背中に移動台車が接触し、前のめりになった際に右足の爪先が通路グレーチングに引っ掛かり、足の甲から指が反り返ったため親指・中指・小指を骨折した。	61	100~299
1	8~9	休憩室を出て、豚舎へ向かおうとしたところ転倒し、右手首を骨折した。前日からの強い冷え込みのため、路面が凍結しており、ゴム長靴を着用していたこともあり、誤って足を滑らせ、進行方向に向かって右側後方に転倒したものである。その際に慌てて右手をついたが、更にその上に尻が乗る形となり、右手首を骨折した。	58	—
5	14~15	牧場内で草刈り作業中、地面の切株に気が付かずに躓き、転倒しそうになった際に草刈り機を掴むような不自然な姿勢になり、右肩付近を痛めた。	71	100~299
6	15~16	農場分娩舎入口付近で、被災者が離乳子豚計量機等を、1枚の板に載せて運搬中、子豚の調子を確認しようとして脇見をしてしまい、床に置いていた餌付用容器に足を引っ掛けてしまい転倒した。	58	1~9
7	11~12	被災者は、当社農場内の肥育ハウスの中で肥育豚の治療をしていた時、ハウス内の段差でつまずき左足甲を負傷した。（段差の高さは30cm位）	35	10~29
	9~	当社農場内において、鶏卵の集卵作業をしている際の移動時に床の段差に躓いて、		10

7	10	左足を挫き負傷した。	60	～ 29
10	16～ 17	勤務終了後、駐車場へ向かう途中の下り坂で、近道しようと砂利道でなく草むらの上を歩き足を滑らせ転倒。その際に右手甲部分を強打した。（履物はクロックス（サンダル）を履いていた。）	49	1～ 9
10	7～8	GPセンター（卵のパッキングセンター）内で、始業前準備を高さ30cm程の検品作業台の上で行っていた。そこから床に降りる際に、5cm程の溝へ右足を取られて転倒し、右足首をくじき、くるぶしを骨折した。	52	～ 299
10	7～8	鶏舎内バックヤードを歩行中、外されていた点検用溝蓋に気付かず点検用の溝上に落下した。	54	1～ 9
11	10～ 11	ダンプにコンベアーで鶏糞を踏み込んでいた時、ダンプから鶏糞が溢れ出たので、慌ててダンプに行こうとして、滑り転び右足膝の内側関節部を床で強打した。	45	100 ～ 299
12	11～12	豚舎内で出荷選抜作業中、滑って豚柵に脇腹を打ちつけた。痛みはあったが、病院には行かず様子を見ていたが、痛みが引かず、後日病院へ行ったところ、左脇アバラ骨1本にヒビが入っていた。	27	30 ～ 49
12	16～17	種豚舎前の通路で移動中、段差につまずき転倒した。転倒時、路面は圧雪状態であった。その後数日は出勤していたが、痛みが治まらなかったため受診した。	60	30 ～ 49
12	13～14	当社農場の養豚場に於いて、空いた豚舎を高圧洗浄機で洗浄していたところ滑ってしまい、転倒して左足を骨折したものである。	76	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html